

26 卒学生に「企業の印象が変化したインターンシップの特徴」を調査 印象が下がった理由、「会社の文化や雰囲気が合わない」が過半数

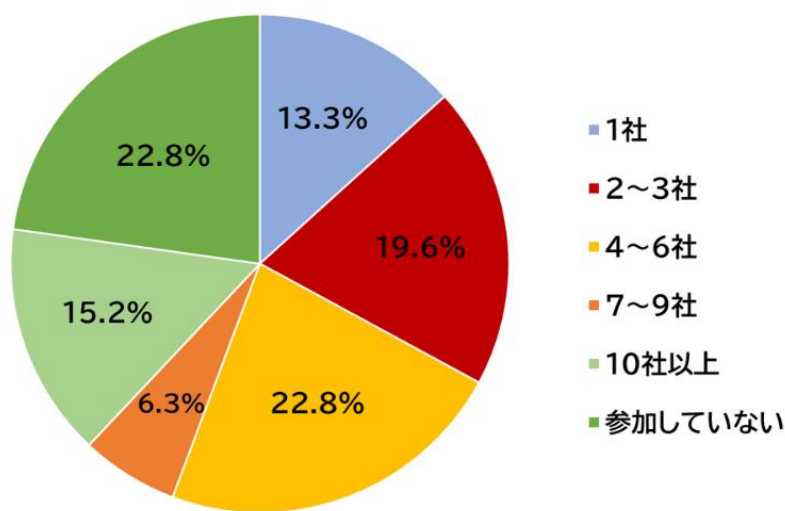
新卒スカウトサイト「Future Finder®」を運営する株式会社ジェイックは、2026 年卒業予定の学生を対象に実施したアンケート調査「企業の印象が変化したインターンシップの特徴」*の結果を発表します。(回答者 158 名、調査日 2025 年 2 月 6 日～4 月 22 日)

*本調査における「インターンシップ」とは、オープン・カンパニーや短期・長期の就業体験など、学生が会社や仕事を知るために参加する、企業主催のプログラムを総括したものを指します。

■インターンシップ参加社数：複数社への参加が 6 割以上

「これまで何社のインターンシップに参加しましたか」と質問したところ、「4～6 社」「参加していない」がそれぞれ 22.8%、「2～3 社」が 19.6%、「10 社以上」が 15.2%、「1 社」が 13.3%、「7～9 社」が 6.3%となり、約 8 割がインターンシップに参加しており、6 割以上が複数社のインターンシップに参加していることがわかりました。

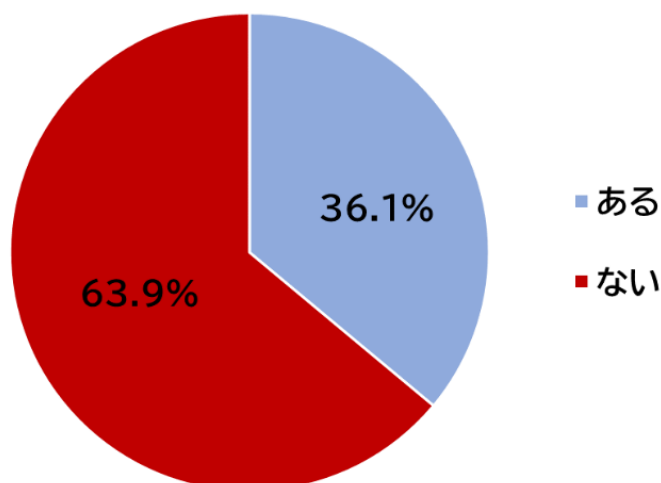
Q. インターンシップ参加社数



■インターンシップへの参加後に、印象が下がった企業：「ない」が 6 割超

インターンシップ参加経験者に「インターンシップに参加したことで、印象が下がった企業はありましたか」と質問したところ、「ない」が 63.9%、「ある」が 36.1%となり、6 割以上の学生が、印象が下がった経験がないことがわかりました。

Q. インターンシップ参加後に、印象が下がった企業



JAIC
ジェイック

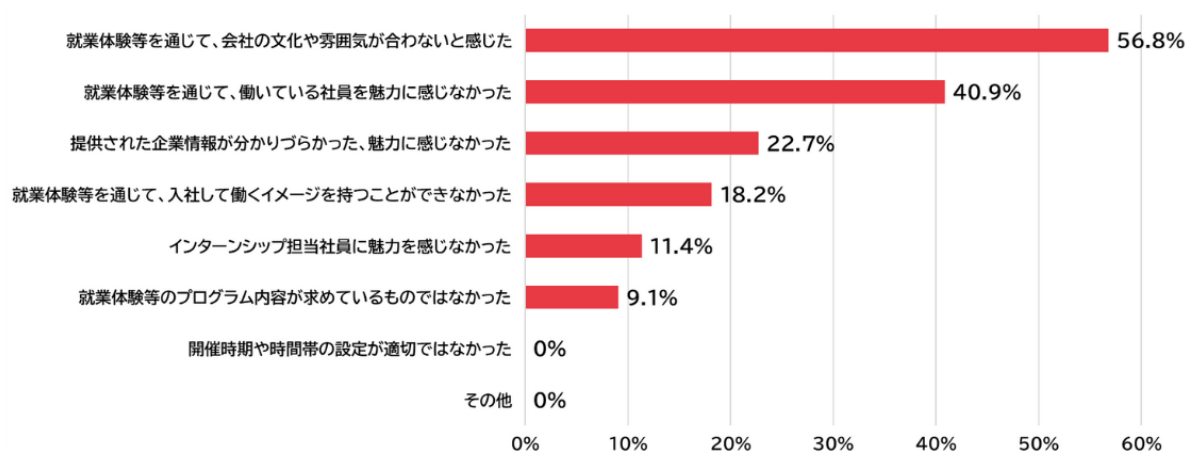
■ インターンシップ参加後に、企業の印象が下がった理由：

1 位「就業体験等を通じて、会社の文化や雰囲気が合わないと感じた」(56.8%)

さらに、企業の印象が下がった経験がある方に「印象が下がった理由について、当てはまるものすべてを選択してください」と質問したところ、「就業体験等を通じて、会社の文化や雰囲気が合わないと感じた」が 56.8%、「就業体験等を通じて、働いている社員を魅力に感じなかった」が 40.9%、「提供された企業情報が分かりづらかった、魅力に感じなかった」が 22.7%、「就業体験等を通じて、入社して働くイメージを持つことができなかった」が 18.2%、「インターンシップ担当社員に魅力を感じなかった」が 11.4%、「就業体験等のプログラム内容が求めているものではなかった」が 9.1%、「開催時期や時間帯の設定が適切ではなかった」「その他」がそれぞれ 0%となりました。

Q. インターンシップ参加後に、企業の印象が下がった理由

(複数選択)



JAIC
ジェイック

■企業の印象が上がったインターンシップの特徴（自由記述・一部抜粋）

最後に、インターンシップ参加経験者に「インターンシップに参加して、印象が上がったインターンシップの特徴を教えてください」と質問したところ、以下のような回答が寄せられました。

▼インターンシップの内容について

- ・短期間でも企業の業務内容に近いことを経験できた
- ・実際に仕事体験ができた
- ・OJT 型のインターンシップで、実務経験を積むことができた
- ・実際に企業の現場をみることができた
- ・様々な事業分社を見学することができた
- ・オフィス見学ができ、企業について詳しく知ることができた
- ・グループワークが充実していた
- ・質疑応答が丁寧だった
- ・フィードバックをもらうことができた
- ・実際に働いている人の生の声を聞くことができ、気軽に質問もできた

▼社員・社風について

- ・社員同士のやり取りから社内の雰囲気わかり、風通しの良い職場だと感じた
- ・会社の雰囲気がよかった
- ・社員が親切だった
- ・社員の人の良さを感じた
- ・インターンシップに参加している社員が多かった

▼人事について

- ・人事の方が好印象だった
- ・人事の方が話しやすかった
- ・人事の方の対応が丁寧過ぎずフランクだった

▼インターンシップの待遇について

- ・昼食が豪華だった
- ・有給のインターンシップだった
- ・懇親会があった

今回の調査結果について、8 年以上新卒採用支援に携わっている Future Finder®メディア事業部長の佐藤は、次のように述べています。

「今回の調査では、2026 年卒業予定の学生の約 8 割がインターンシップに参加し、そのうちの半数以上が、『インターンシップ参加後に企業の印象が下がった経験がない』ことがわかりました。『印象が上がったインターンシップの特徴』にも多くの回答が寄せられたように、インターンシップは、新卒採用を行う企業にとって学生の志望度を高める絶好の機会といえるでしょう。一方で、インターンシップに参加した学生の 3 割以上が『企業への印象が下がった』と回答しており、その理由として、本来インターンシップを通じて魅力を伝えるべきとされる『会社の文化や雰囲気』『社員の魅力』が多く挙げられました。

特に就業体験ができるインターンシップは、学生が『自分がその企業で働く姿』をイメージし、早期の段階で企業との相性を見極める重要な機会です。学生がインターンシップに求める就業体験や、学生に伝えたい自社の魅力を整理しておくだけでなく、採用担当者は必要に応じて、インターンシップに関わる社員への目的理解や役割意識を促す教育・ガイダンスを行い、全社体制で学生が満足のいくインターンシップを提供できるように整備することが大切です。学生の志望度向上につながる、全社員から感じる誠実な対応と、質の高いインターンシップでの体験を通じ、学生が自社に対し信頼感と期待感を持って本選考に進んでもらえるインターンシップを行えるかが、その後の採用成功のカギをにぎります。」



株式会社ジェイック Future Finder®メディア事業部長 佐藤 裕康

ジェイック入社後、中途採用支援からキャリアをスタート。その後は、マーケティング部門の立ち上げ、組織マネジメントを経て、2016年にダイレクトリクルーティングと求人メディアの2つの特徴を併せ持つ新卒採用メディア「Future Finder®」の立ち上げを担当。2020年に同事業部の事業部長に就任。

【調査概要】

調査名称：「企業の印象が変化したインターンシップの特徴」についてのアンケート調査

調査対象：当社サービス「Future Finder®」に登録した2026年卒学生

調査機関：自社調査

調査方法：Web アンケート

調査期間：2025年2月6日～4月22日

回答者数：158名

■「Future Finder®」概要

企業と学生との“特性マッチング”を行う就職支援（採用支援）サイトです。心理統計学を活用した診断エンジンを用いて、企業は自社で定着・活躍可能性の高い学生を探し出すことができ、学生は特性検査の結果をもとに、自分の特性が活かせる社風の会社組織・職（仕事）を知ることができます。ダイレクトリクルーティングと求人メディアの2つの特徴を併せ持つサービスで、18卒の支援よりスタートしており、現在は25卒、26卒の支援を行っています。

詳細 URL：<https://futurefinder.net/>

■会社概要

社名：株式会社ジェイック

代表取締役：佐藤 剛志

設立：1991年3月

資本金：2億6,229万円（2025年1月末現在）

本社所在地：東京都千代田区神田神保町1-101 神保町101ビル7F（受付6F）

事業所：名古屋、大阪、福岡オフィス、熊本オフィス、上海ジェイックマイツ

事業内容：フリーター・既卒・第二新卒者向けの就職・採用支援サービス「ジェイック 就職カレッジ®」

中退者の就職・採用支援サービス「ジェイック 中退就職カレッジ®」

新卒学生の就職・採用支援サービス「新卒カレッジ®」

新卒スカウトサイト「Future Finder®」

企業向け教育研修事業

URL：<https://www.jaic-g.com/>

既卒向け就職支援サービス：<https://www.jaic-college.jp/>

新卒向け就職支援サービス：<https://shinsotsu.jaic-college.jp/lp/2023/>

企業向け採用支援サービス：<https://www.jaic-g.com/service/adoption/>

企業向け教育研修サービス：<https://www.jaic-g.com/service/education/>

採用×教育チャンネル「HRドクター」：<https://www.hr-doctor.com/>

【お問い合わせ先】

株式会社ジェイック 担当：梅田

E-mail：info@jaic-g.com TEL 03-5282-7600 FAX 03-5282-7607